

# 100の一步

## # 64 燃料電池バスと行く、バス整備員の学校訪問説明会

横浜市営交通の取組とそこに込める思いを発信する“100の一步”。

今回は、燃料電池バスと行く、バス整備員の学校訪問説明会です。

交通局人事課では、バス整備員を安定的に採用するため、県内の整備学校を中心に『訪問型』の就職説明会を実施しています。

令和3年度は、神奈川総合大専科と東部総合職業技術校を訪問しました。

説明会では、バスのタイヤやバッテリーなど、その重量感やスケールを間近に感じてもらうためバスを持参して説明します。整備学校のカリキュラムは乗用車整備の授業が中心のため、大型車両に触れることが少ないという実情もあり、バスを見ていただくことで、興味を持っていただくことが狙いです。持参するのは、燃料電池（FC）バス。横浜市が掲げるZero Carbon Yokohama施策の一環として、交通局も低炭素化に取り組んでいることもPRしました。



まず、広い敷地を活かし、実際に乗り心地を体感してもらうため学生さんに乗車いただきます。

滝頭営業所のマスタードライバーによる滑らかな加速や振動の少ない運転に、『エンジンが静かで、変速時のショックが少ない！』と感嘆の声が挙がっていました。また、バス後方部のエンジンや排水についても見学してもらい、仕組みや構造について関心を高めていただきました。



さらに、大型車両の整備は部品の大半が重量物のため、ハードルが高い印象を感じている学生さんが多いことから、コンパクトで軽量化された工具類を持参して、実際に触っていただき、力の弱い方でも容易に扱えることを直接伝えていきます。

学生さん達からは、『公営企業ならではの視点で、環境に優しいバスを整備するというやりがいを感じた』という声や、『大型車両だからそのスケール感が魅力』という声をいただきました。

